



④

の、なぜ改善されないのか疑問を
うで、今世界で起きている事とは
到底思えませんでした。私は、日
々紛争状況が報道されているもの
の、なぜ改善されないのか疑問を

先曰、イスラエル軍
の攻撃から逃れている
人々や食料を求めて市
場に押しかける人々の映像を見ま
した。大正時代の米騒動の絵のよ
うで、今世界で起きている事とは
到底思えませんでした。私は、日
々紛争状況が報道されているもの
の、なぜ改善されないのか疑問を



○さとり
・高校
2年生

今回のテーマは「最
近の時事ニュースをSD
Gsの視点で考察す
る」です。様々な問題
をメンバーそれぞれが
自分に引き当てて考え
書いてくれました。

抱いていました。
そこで私は、「トランプ大統領
による国際援助の打ち切り」と
「SDGsの貧困をなくそう」と
のつながりについて調べました。
これまで米国は世界のHIV対
策資金の約70%、結核やマラリア
への国際援助の3分の1を負担し、
最大規模の人道支援を行ってきた
した。しかし、ドナルド・トラン
プ氏によって、今年1月以降、多
数のプログラムが突然打ち切れ、
国境なき医師団は「HIVや結核
に苦しむ人たちに壊滅的な影響を
及ぼしている」と訴えています。
なぜ人々の命が一国の大統領が
変わっただけで、再び危険にさら
されてしまうのかと、胸が締め付
けられました。少しの募金からこ

の危機的状況に貢献したいと思い
ました。
○Minaty
・高校1年生
僕は最近「大阪万博でユスリカ
大量発生」というニュースを見ま
した。大阪万博会場内でユスリカ
が大量に飛んでいて、来場者に不
快感を与えているそうです。しか
し万博では「いのち輝く未来社会
のデザイン」をテーマとして掲げ
ているため、たとえば人に迷惑を
かける虫であっても、殺してしま
えば理念と矛盾してしまうため、
対策が難航しているそうです。な
ぜこのニュースに興味を持ったか
というと、僕は生き物が好きで、
たとえばどんなに不快に思う生物で



○Minaty
・高校1年生



も命を大切にしたいと思っただけです。これは生態系の保全を含みSDGsの15番目の「陸の豊かさを守る」に繋がります。ユスリカはアレルギーを引き起こすといえます。僕は卵アレルギーがあるので、その苦しみがよく分かります。でも虫を殺せばいいというものでもないと思います。生物と共存するのは難しいと思うけれど、それこそ科学と技術の出番だと思っています。殺すのではなく共存するために科学と技術を発展させることが大事だと思います。



○ののは ・高校2年生

トランプ政権の関税政策を受け、今までアメリカ国外の工場で生産

し輸入していた企業が、自国またはより関税率の低い国で生産してコストを抑えるなどの対策を行なっているそうです。しかし、これまで生産を請け負っていた国における従業員の失業の問題が生じています。

関税による影響は、失業だけではなくありません。関税政策前にかつての工場で大量生産されていた、行き場を失った製品はどうなってしまうのでしょうか。あるニュースでは、それらは全て廃棄されていると報じていました。その一例であるインドのデリーには、世界最大級のゴミ捨て場と言われる埋立地があります。約20年前に埋め立て最大容量に達しており、閉鎖されるはずでしたが、大量生産・

大量廃棄の現状は変わらず、今現在もゴミが運ばれ続けています。この現状は、近隣住民の健康に深刻な問題を引き起こしています。このニュースを通じて、一つの行動が悪い意味でも良い意味でも、多方面へ影響していくということを実感しました。

SDGsという地球規模の課題を前にすると、自分の小さな行動がどのように貢献しているのかわからない人も少なくないと思います。今回のニュースが示すように、案外世界や私たちは深く繋がっています。繋がっているということを知ること、自分が行う一つの行動が持つ意義を、少しでも感じることができ、希望を持つことができる気がします。





○あおい 高校2年生

みなさんは耳にする情報の中で「音楽」にどれだけプライオリティーを置いているでしょうか。街中や店内で流されていたり、ドラマやアニメの主題歌だったり、少なくともこの世界において欠かすことのできない娯楽要素の一つといえるでしょう。私は今、仲間たちと音楽をゼロから作る活動をしています。その中で「どの楽器もどれ一つとして欠けてはいけない」ということを学び、それは現代社会においても同じなのではないかと思いました。

一般的にバンドという組織での花形と呼ばれるのはやはりギター

やボーカルといったメインの旋律や目立つフレーズを多く担当するパートです。しかしリズムの要であるドラムがいなければ全員がバラバラになってしまいます。ベースの低音の支えがなければ曲が薄くなり、キーボードがいなければ音色の幅が著しく狭まります。華々しく目立たなかったとしても曲を完成させるには絶対に必要です。そしてそれは今の世の中の職業でも同じだと思います。

いらない仕事もいらない人も、絶対にこの世界には存在しません。たとえすぐ真横の人から必要ないと言われてしまったとしても、あなたがいないといけないことが必ずあります。あなたが必要だと言ってくれる人がいます。あなたじ

やないといけないことがあります。目の前の自分の視野の範囲の世界に必死になって、つい自分が見えなくなってしまうがちな苦しい世の中を私たちはまた明日も生きていきます。私は学生です。まだ仕事もしていないくて、たまに友達や親と喧嘩もします。でもまた笑って、やっぱり泣いたりして。そんなふうに今を生きています。もし自分の存在意義を見失ってしまったときがあったら思い出してください。あなたがいるから生きることができている人があるということとを。

■バックナンバー
過去の記事は
こちらから！

